

ロボット肝ぞう手術のメリット

- ①高解像度の3D画像とズーム機能により、より精細な映像が見られる。
- ②アームに多関節機能があり人間の手と同等以上の細やかな作業が正確にできる。
- ③手振れが補正され作業が速く正確となる。

～当院におけるロボット肝臓手術について～

当科においてはロボット支援下手術の術者認定医3名、助手認定医3名がおり、また肝胆脾外科学会で認められたロボット肝ぞう手術のエキスパート(プロクター)も1名在籍しております。多職種の方々とチームを組んで、安全かつ確実なロボット支援手術に積極的に取り組んでおり、多くの患者さんに安全確実なロボット手術を提供させていただいております。ただし、がんのできた場所や大きさ・個数、患者さんの全身状態などによってはこのロボット手術が適さない場合もありますが、その場合も各患者さんごとに複数人の専門家が治療方針を話し合って、その患者さんに合った最善の手術法・治療法を導き出しますのでご安心ください。

～最後に～

体の中で行われる手術内容が同じであるならば、お腹の傷が小さい方が患者さんの体への負担が軽いことは当然であり、当科ではこのような最先端の「患者さんに優しいダメージの少ない肝ぞう手術」を安全に提供できるようにスタッフ一同積極的に励んでおります。肝ぞうの手術に関してご興味がございましたらなんなりとご相談に応じさせて頂きますので、どうぞ消化器外科の外来を受診してください。

《著者紹介》

永 滋教 (えい しげのり)



東海大学医学部消化器外科准教授
ロボット手術ワーキンググループ肝胆脾部門担当
東京都 浅草出身
2007年 慶應義塾大学医学部卒業
2013年 国立がん研究センター中央病院
2015年 Strasbourg (仏) 腹腔鏡手術センター、永寿総合病院
2017年 北里大学病院
2019年 Heidelberg 大学(独) 肝胆脾癌研究留学
2021年 東海大学医学部

資格：ロボット支援肝臓手術&脾臓手術プロクター、内視鏡外科技術認定医(肝臓)、肝胆脾外科高度技能専門医、日本肝胆脾外科学会評議員、脾臓学会認定指導医、肝臓専門医、胆道学会認定指導医、消化器外科専門医・指導医、等

